

ここではグランドセンチュリー英和辞典第4版のしくみを簡単にまとめてあります。辞書を使う前に一度「この辞書のしくみ」「この辞書の使いかた (vi~xxページ; 本文Aの項目が始まる前の部分)」に目を通してください。

## 1 見出し語と Ex1 Ex2 マーク (→p.24、33)

見出し語はアルファベット順に並んでいます。lookを例に引いてみましょう。

lookはIで始まっています。辞書の側面についているアルファベットの文字と赤い帯状の部分とで、開くページの見当をつけます。開いたページの左上と右上を見てください。左右両端にページ数と単語がそれぞれ記されています。左側の単語はそのページの最初に出てくる見出し語、右側はそのページの最後に出てくる見出し語を示しています。これを活用すれば、その見開きページにどの単語からどの単語まで含まれているかすぐ分かります。lookは937ページにあり、辞書の真ん中あたりですので、覚えておくと便利です。

重要な見出し語約7,850語には、単語の後ろに\*が付いています。\*が3つ付いた大活字の見出し語は中学学習語(約1,320語)です。英語の中で最もよく使われ、学習の土台となる語で、高校では自在に使えるようにしたい語です。\*が2つの見出し語は、高校学習語で中活字で示されています。\*が1つのものは、上記以外で高校生に必要な語です。

また、大学入試に頻出する語には頻度の高い順に Ex1 Ex2 マークを付けました。学習の際に役立ててください。ただし、中学学習語は省いています。

## 2 発音・アクセントとカタカナ発音 (→p.25)

発音記号は見出し語の右側の / / の中に示してあります。どのような記号が使われているかについては、「発音記号表」(xxiページ)で確認してください。詳しい説明は「発音解説」(xxii~xxxページ)にあります。

発音やアクセントの位置に注意して欲しい語に

はカタカナ発音を付けました。!のロゴマークを目印にしてください。ただしこの表記は、自然な発音ができるまでの補助的な情報です。

## 3 品詞 (→p.28)

発音記号の次に品詞が示されています。「この辞書の使いかた」のxページに品詞の一覧があります。

名 名詞	形 形容詞	動 動詞
自 自動詞	他 他動詞	副 副詞
前置詞 前置詞	接続詞 接続詞	助動詞 助動詞
代名詞 代名詞	接頭辞 接頭辞	接尾辞 接尾辞
定冠詞 定冠詞	不定冠詞 不定冠詞	間投詞 間投詞
過 過去形	過分 過去分詞	

1つの見出し語に2つ以上の品詞がある場合、2つ目からは棒見出し(一)で示してあります。

## 4 語形変化 (→p.26、27)

名詞・動詞・形容詞・副詞は文中で形を変えます。これを変化形といいます。変化形は品詞の次に示されています。

名詞には(複~s)のように複数形を示してあります。

形容詞と副詞の変化形には比較級と最上級があり、元の形は原級といいます。変化しないものには「比較なし」と表示しています。

動詞の変化形は(3単現; 過去形; 過去分詞; 現在分詞)の順に示してあります。過去形と過去分詞が同じ形の場合は1つにまとめてあります。

## 5 語義 (→p.28、29)

1つの語が1つの語義(=意味)を持っている場合と、2つ以上の語義を持っている場合があります。2つ以上ある場合は①②③…と番号で分けられており、原則的に使用頻度の高い順に配列されています。下位区分は(a)(b)(c)…で示しました。特に重要な語義は赤字で示しています。

語義の前後には数種類のかっこが付いて意味を補っています。〔 〕は主語・目的語に関する補足を、( )はこまかいニュアンスの差などを示します。《 》はいっしょに用いられる前置詞とそ

の訳語、語義の内容の簡単な解説などを示しています。

## 6 意味マップ (→p.29)

とくに語義の多い語については、見出し語のすぐ下に「意味マップ」を付けました。これを活用することで、求める意味をすばやく探すことができます。また、調べている単語の全体像、語義どうしのつながり、その語の持つニュアンスも把握することができます。

## 7 文型 (→p.30)

グランドセンチュリー英和辞典第4版では、動詞の文型を次のようなロゴマークを中心に示しています。

**SV** **SVC** **SVO** **SVO:O<sub>2</sub>** **SVOC**

Sは主語、Vは動詞、Oは目的語、Cは補語を表します。

OやCが特定の形になるときや、副詞(句)などが付くときは、**SV副詞(句)** **SVthat節** **SVO to do**のような詳細なロゴで示します。詳しくは「この辞書の使いかた」(viii~xxページ)で確認してください。

## 8 コロケーション (→p.31)

日本語では「激しい雨」とも「激しい風」ともいいますが、英語ではそれぞれheavy rain, strong windといい、×strong rain, ×heavy windとはいえません。このような語と語の相性の良い結びつきをコロケーションといいます。グランドセンチュリー英和辞典第4版では、代表的なコロケーションを**コロケーション**ロゴとグレーの縦線で示しています。また、コロケーションは用例中にも含まれます。

## 9 成句 (→p.32)

日本語で「腹が立つ」とはいいますが、決して「腹が立ち上がる」とはいいません。「腹」と「立つ」は、強く結びついて使われることで新たな意味を持ちます。このように分解できない特別な意味を持ったかたまりを、成句(イディオム)といいます。

成句は太い斜体文字で示されています。成句に名詞や動詞が含まれているときは、ふつうその名詞または動詞の項に出ています。たとえば、成句**keep one's head above water**であれ

ば、まず**head**名で引いてみましょう。そこになれば、**water**名や**keep**動を見てみましょう。

動詞に特定の前置詞や副詞などが付いて1語の動詞のような役割を持つ熟語的な動詞表現を、特に句動詞といいます。**get up**(起床する)、**take care of**(世話をする)など、たくさんの句動詞をすでに学習したことがあるでしょう。

## 10 学習のPOINT・学習コラムなど (→p.33)

たくさんある語法のなかで特に重要な語法に**POINT**マークを付けました。ほかに学習上有用な解説をコラムにまとめてあります。詳しくは「主なコラムリスト」(iv~vページ)で確認してください。

## 11 語源・語根・由来 (→p.34)

語源は[ ]で示してあります。ただし、学習上有用なものとして読んで面白いと思われるものに限りしました。

同じ語根を持つ単語を**語根**でまとめて示しました。語源とあわせて語彙を増やすのに活用しましょう。

成句を中心に**由来**の説明を付けました。

## 12 派生語・反対語・類義語 (→p.35)

語彙を増やすときに役立つ派生語・反対語・類義語の情報をたっぷり収録しています。何か単語を引いたときには、できるだけ派生語・反対語・類義語を確認するようにしましょう。

## 13 和英インデックス (→p.36)

巻末に簡便な和英インデックスをのせてあります。つづりの確認や簡単な英作文に活用してください。ただし、冠詞や変化形や語法などの詳しい表現については、できるかぎり英和本文を参照するようにしてください。

## 14~17 教科書下調べページ (→p.37~40)

教科書本文を見て具体的にどのように辞書を引いたらよいか詳細に確認していきましょう。